

さようなら
峠下小
学校

峠下小学校が開校以来79年間の歴史を、3月末をもって廃校となり、永い歴史に幕をおろすことになりました。

峠下町に先人が開拓の意を持ち、意欲満々として入植されたのが明治32年、峠下町は留萌港を海の玄関口とするならば、まさに本市の陸の玄関口として、その位置付けは大きく、さらに、本市の水稲、畑作の理想郷として、その役割は重要な地域として発展してきました。

この峠下町における教育の活動の中核として、現在の峠下小学校の前身、留萌第2尋常小学校附属特別教授場が明治42年に創立開校され、大正7年峠下尋常小学校として独立、越えて大正15年現在地に移転、校舎の拡張と改築が行われ名実共に独立校として機能が整えられました。その後校舎の老朽化に伴い昭和37年現校舎が建築され現在に至っています。

峠下小学校は、地域融合一体の教育実践の場として、学校・家庭・社会の一体化が真の教育であるという考え方を柱に「優れた英知と心豊かにしてたくましい人づくり」を行い、今までに50名にもおよぶ卒業生を社会に送りだしています。

しかし、社会状況の変化は、峠下小学校にも生徒の減少という影響をあたえ、ついに3月をもって廃校ということになりました。



地域の融合一体
の教育をめざした
峠下小学校。

峠下小学校校歌

志村 猛作詞
佐々木 昭作曲

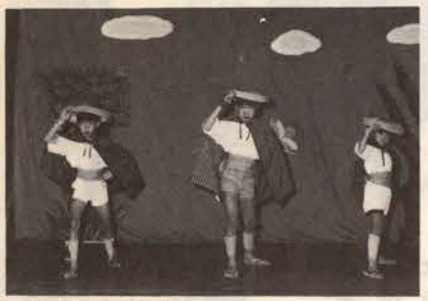
一、みどり呼ぶ 山の朝の
檜 柏 梢も 高く
小鳥らの 歌さわやかに
峠路のああ 吾が学び舎
限りなき 陽はあふれくる

二、茜なす 雲の夕の
谷々のせせらぎ青く
風なごみ 魚ひるがえる
峠路のああ 吾が学び舎
幸多き日を 喜ばん

三、雲白く 樹々を飾りて
峯吹雪 雄叫びあげて
一筋の雪 深き道
峠路のああ 吾が学び舎
明日の日に強く 鍛えん



▲第14回学校音楽祭(47年)



▲学芸会(63年)



▲クリスマスの集い(63年)



▲旧校舎(現校舎の向い側)